

対象年度		令和 2年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		都市計画道路整備事業						予算事業名		街路管理事業費			
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	都市計画法			
				08	03	03	1101	政策経費					
総合計画体系		2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)						事業の区分		主要事業			
		2-1計画的で魅力あるまちづくり(都市計画)											
		①計画的な市街地の形成						担当課係等		都市計画課 計画係			
		2都市計画道路の再検討											
事業期間		継続 (平成29年度～令和元年度)											
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】					
都市計画道路3・4・18号線(鹿窪・砂窪線)の整備 ※旧鹿窪・根本原線								昭和32年に都市計画決定告示を受ける。					
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】								【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】					
都市計画道路3・4・18号線(鹿窪・砂窪線)の整備に向けて、整備計画の作成、用地の先行取得等を行う。								市民					
【事業をとりまく環境の変化】								平成23年度から長期未着手となっていた都市計画道路の再検討を実施し、平成29年5月に当該路線を含めた変更に関する都市計画決定告示を受けた。					
【令和 2年度 事業内容】				【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】					
■事業費													
				H30年度		R01年度							
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0						
	県		支	出	金	0	0						
	地		方		債	5,300	12,400						
	そ		の		他	0	0						
	一		般	財	源	294	240						
歳入計(千円)				5,594		12,640							
歳 出 内 訳	節(番号+名称)				金額(千円)		金額(千円)						
	13 委託料				195		170						
	17 公有財産購入費				5,399		12,470						
歳出計(千円)(A)				5,594		12,640							
伸び率(%)						125.95							
備考	総合計画 71 ページ 予算書 144 ページ												

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	先行取得面積	㎡	目標	221.25	511.05	0.00
	用地の先行取得面積		実績	221.25	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	先行取得面積	式	目標	221.25	732.30	0.00
	用地の先行取得合計面積		実績	221.25	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	都市計画道路の整備については、まちづくりの観点からみても重要である。
妥当性	実施主体の妥当性	B どちらとも言えない	本来は県主導で進めていくべきだが、市の負担分も求められると思われる。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	先行取得という方法が必要かは何とも言えない。
効率性	コストの効率性・人員効率	C 改善の余地はある	先行取得を行った場合、その管理が発生するので、先行取得という方法を見直す必要がある。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市域を結ぶネットワーク構築という観点からいえば、偏りは見られない。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	事業化がされていない路線がほとんどであるため、成果向上という考え方はできない。
進捗度	事業の進捗	C 遅れている	当初計画決定からすると、遅れている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
各路線の事業化が見えてこない。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
用地に関しては、事業化後に買収する方向で決定した。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☒ 休止 ☐ 廃止・終了	
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 今後の都市計画道路の整備に係わる用地の先行取得については、事業化に合わせて購入することとなった。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	